

第3部 自由記載欄

ここでは若手従業員調査および管理・監督者調査の自由記載欄に記された内容の分析を行う。本調査の特徴の一つとして、両調査にそれぞれ4つの自由記載欄を設けたことが挙げられる。そこには選択肢に縛られない回答者の率直な意見が表明されており、それを分析することで多くの示唆を得ることができる。以下、それぞれの質問について、まず概要を掲げ、それに続いて実際の回答の一部を掲載する。その際には次のような方針に従った。

- (1) 回答全体から分類項目を作成し、それに従って分類する。ただし、1つの回答が複数の項目に該当するケースがあるので、項目と回答との対応はあくまで便宜的なものである。
- (2) 紙幅の制約のために全回答を掲載することはできないので、代表的な回答や興味深い回答を抽出するが、全体に、回答の多い分類項目からはより多く、回答が少ない分類項目からは少なめに抽出することにした。
- (3) 誤字等の修正や、読みやすくするために表現の変更を加えている回答もある。
- (4) 概要の部分については、実際の回答を括弧内で記載しつつ作成した。

第1章 若手従業員調査

第1節 転職を考える理由

若手従業員調査では、問9(1)において「あなたは、近い将来(3年後以内)に具体的に転職を考えていますか」と尋ね、それに対して「真剣に考えている」「それほど真剣ではないが、考えることもある」「考えていない」の3つの選択肢から一つを選んでもらい、そこで「真剣に考えている」あるいは「それほど真剣ではないが、考えることもある」と回答した人に対して問9(2)で「そう考える理由は何ですか」として自由な記載を求めている。以下では、この問への回答の全体像を紹介する。「概要」では、回答の概要をいくつかのカテゴリーごとにまとめる。続く「実際の回答例」では、実際のアンケート回答の一部を紹介する。

概要

【給与と待遇に対する不満】

多くの従業員が給与や待遇に対する不満を転職の主な理由に挙げている。「給料が少ないから」「待遇と会社の将来性への不安」などが具体的な例であり、周囲の友人や他社との比較が、現職の報酬に対する不満を強める傾向がある。「他企業の同世代より給料水準が低いと感じるため」という意見も見られ、自社の給与体系に対する不満が転職への動機となっている。また、福利厚生に関する不満も見られ、「福利厚生が既婚者向けで、仕事の成果ではなく、既婚か否かで収入が変わる」という指摘や、「納得感の無い福利厚生制度」といった声が上がっている。従業員は自分の働きに見合った報酬や待遇を求めており、その不足が転職の一因となっている。

【評価制度への不信感】

評価に対する不満も多く見られる。「正当な評価を受けていないと感じる時がある」「評価システムが理解できない」という回答が示すように、現行の評価制度が透明性や公平性に欠けていると感じる従業員が多い。特に、「成果を出したにもかかわらず正当に評価されない」といった深刻な不満が転職の動機となっている。一部の回答では、「昇格が出来ない」といったキャリアパスに対する不安も指摘されている。「頑張っている人ほど損をするように見える」との声もあり、努力が報われない環境が従業員のモチベーションを低下させている。

【激務や残業】

「激務過ぎるため」「残業が多いから」という意見も目立つ。特に残業が常態化している職場環境が健康に悪影響を与えており、疲労や体調不良を訴える従業員もいる。「残業が多い時期は疲労が溜まりやすく、体調を崩すこともあるため」という具体的な声があり、長時間労働が転職を考える理由の一つとなっている。一方で、残業が規制されることで賃金が減少し、生活水準が維持できなくなることを不満とする声もある。つまり、残業の多さと不足の両方が、従業員にとって不満の要因となっている。

【メンタルヘルスの問題】

仕事によるストレスが、メンタルヘル스에悪影響を及ぼすことを懸念する声も少なくない。「メンタルヘルスで身体を壊すくらいなら転職した方がよい」という切実な意見が示す通り、ストレスや体調不良が深刻化する前に職場を変える選択肢を考える従業員が多い。「今の働き方では自分が壊れてしまう」との声もあり、過剰な業務負荷が従業員の健康を脅かしていることがうかがえる。

【組織や職場環境の問題】

従業員は職場の風土や組織体制に対しても不満を抱いている。「閉鎖的な会社風土と感じる」「社内体制が保守的で、新しい仕事に挑戦できない」といった意見が見られ、柔軟な組織運営が不足していることが従業員の不満を引き起こしている。「人間関係で悩みを抱えることが多いため」という回答もあり、職場の雰囲気や人間関係のストレスも転職を考える理由となっている。

【仕事内容の適性】

自分の仕事が適していないと感じる従業員も多い。「今の仕事が自分に合っていないと感じたため」「もっと自分に向いている業種があるのではないか」といった意見が示すように、現職が自分の適性に合っていないと感じることが転職を考える動機となっている。さらに、自分のスキルや得意分野を活かせないことに対する不満が、より自己実現が可能な職場を求める要因となっている。また、「職種内容が向いていないと感じるが異動希望が通らないため」という意見があるように、社内における異動希望が実現しないことも転職希望をもたらす要因となっている。

【やりたいこと・やりがいの欠如】

「現在の業務と自分のやりたいことが乖離している」「やりがいを感じないときがある」という回答が目立ち、やりたい仕事に就けていないことや、現職にやりがいを感じないことが転職の理由として挙げられている。また、「会社内で異動する機会も少なく、今の仕事が今後ずっと続けたいか疑問がある」

という声が示すように、社内異動の機会が少ない場合には、若手従業員が転職という形で外の世界に目を向ける傾向が見られる。加えて、「元々第一希望の職場でなく、やりたいことがやれない恐れがあるため」という意見からわかるように、現在の職場の配属が希望通りでない場合には転職希望が強くなる。

【仕事・会社・業界の将来性への不安】

「会社の将来性が不安」「業界の先行きが不透明なため」といった回答は、会社や業界の将来性への不安を反映している。特に自動車業界に関する不安が多く、「自動車用エンジンに関わる業務であり、今後伸びる可能性が限りなく少ない」という具体的な指摘も見られる。会社や業界の未来が見えないことで、転職を考える従業員が少なくない。

【自己成長とキャリアアップの機会不足】

「スキルが身につかないから」「現状のままではスキルアップにならない」という意見も多く、若手従業員が自社では自己成長やキャリアアップの機会が不足していると感じていることを示している。特に「他社で通用するスキルが身につけていない」と感じる従業員が少なくなく、こうした人々は長期的なキャリア形成を見据えて転職を検討している。また、「ルーチンワークが続くとスキルが身につかない」「業務内容が変わらず、自身のキャリアに不安を抱いたため」という指摘もあり、変化の少ない業務に対する不満が表れている。

【新しい挑戦と興味】

新たなチャレンジとして、転職を位置付けている若手従業員もいる。「別の職種に挑戦したい」「チャレンジしてみたいと時々感じるから」という回答は、まさにそうした挑戦意欲を反映したものである。「慣れた環境にずっと身を置くのではなく、新しい環境で今までとは全く異なる人たちと仕事することで、人生に刺激を与えたいから」という意見は、人生に刺激を与えるスパイスとして転職を位置付けており興味深い。また、「現在と異なる業界・業種に興味があるため」のように、自分の興味を充足するために転職を希望する人も少なくなかった。

【ワークライフバランス】

現在の仕事ではワークライフバランスが実現できないという切実な意見も散見された。「子育て中で、子供との時間を増やしたいし、育児と家事に追われて、自分に余裕を持てなくなってしまうことがあるため」「仕事中心の生活となっており、生き甲斐を感じないため」などが典型的な回答である。「仕事とプライベートの両立が難しい。出産子育てができない」という具合に、出産や子育てが実現できない不安も表明されている。

実際の回答例

(給与)

- ・ 給料が少ないから。
- ・ 待遇と会社の将来性への不安。
- ・ 他業界と比較し給与水準が低い。

- ・ 将来の待遇向上の目途が絶たれたため。
- ・ もっと好条件の職場があれば転職したい。
- ・ 他企業の同世代より給料水準が低いと感ずるため。
- ・ 給与(どれだけ頑張っても、基準以上には上がらない)。
- ・ 周囲の友人の話を聞き、環境や待遇面での格差を感ずるため。
- ・ 収入が今より良く、いいロケーションで働けるのであればそうしたい。
- ・ 与えられている仕事・責任に対して、待遇が割に合わないと感じるため。
- ・ 納得感の無い福利厚生制度(寮、社宅、家賃補助等)、納得感の無い組合活動(不要なものを配布等)。
- ・ 福利厚生などが家族向けのものが多く、仕事の成果ではなく、既婚か否かで収入が大きく変わるから。
- ・ 給料・待遇(福利厚生・会社制度)面で、自社で過ごすよりも転職するほうが有利になることが多いと周知からよく聞かため。
- ・ 他社が待遇面(主に給与水準)で魅力的に見えることがある。自社のサービスに誇りを持ってないことがある(仕事をする以上、会社の事業に誇りを持ちたい)。
- ・ 福利厚生等は良いが、他業種に比べて給料が上がりにくい。今は夫婦共働きだが妻を専業主婦にできるほどの給料になるのはかなり先になってしまう。若い人の給料を上げる議論もあったが、反対する人が多く、将来への不安が強まった。

(評価不満)

- ・ 昇格出来ない。
- ・ 評価システムが理解できない。
- ・ 正當に評価される会社で働きたい。
- ・ 正當な評価を受けていないと感じる時があるため。
- ・ 上司や先輩を見ていて今後の昇格に夢を感じない(頑張っている人ほど損をするようにも見える)。
- ・ 多角的に一人の人を評価して仕事に見合った給料を支払ってくれる、やりがいを感じる会社に行きたいと思っている。
- ・ 今の部署へは希望して異動していませんが、正當な評価を受けられていないと感じるため。また、他でのほうが社会にもっと貢献できると感じたため。

(激務・残業)

- ・ 激務過ぎるため。
- ・ 残業が多いから。
- ・ 仕事量が少ないため残業が規制されており、賃金が低いから。
- ・ 残業が多い時期は疲労が溜まりやすく、体調を崩すこともあるため。
- ・ 残業前提の勤務時間である現状を社内の人間が問題視していないから。

(メンタルヘルス)

- ・ 今の働き方では自分が壊れてしまうから。
- ・ 仕事から受けるストレスに耐えられなくなってきたため。
- ・ メンタルヘルスで身体を壊すくらいなら転職した方がよい。

- ・今の仕事でストレスを感じて体調が悪くなることがあり、自分の体調のために。

(組織や職場環境)

- ・自分の主義と会社の風土にズレを感じるため。
- ・会社に対しての希望や要望がなかなか通らないから。
- ・閉鎖的な会社風土と感じ、他社技術者とのギャップを感じたから。
- ・会社方針と現場レベルの実態に差があるがその改善が見られない。
- ・何をやるにも承認やリスク回避やら P ばかりで D までが時間かかる。そのあとの C と A も過剰に多い。
- ・社内体制が保守的で新しい仕事に挑戦しようにも結局は現場が最優先されてしまい物事が前に進まない。板挟みが多い。

(職場環境)

- ・同僚が転職することが多いため。
- ・人間関係で悩みを抱えることが多いため。
- ・他企業の友達の働きぶりを見ると、見劣りするため。
- ・柔軟に小さな組織で仕事できる環境もいいかもしれないと考えるため。
- ・安定しているが所謂 JTC 企業なので、パワハラや古いやり方が横行している。
- ・企業規模が大きく、社員（おもに事業部）の顔が見えにくい。所属年数が短いためやむを得ないが、顔と名前が一致しない独特の働き難さが若干ある。

(仕事内容の適性)

- ・今の仕事が自分に合っていないと感じたため。
- ・もっと自分に向いている業種があるのではと思うから。
- ・もっと自分を活かせる仕事があるのではないかと思うため。
- ・職種内容が向いていないと感じるが、異動希望が通らないため。
- ・仕事の進め方や範囲が、自分の適性と合っていないと思うことがあるため。
- ・自分の能力と仕事で求められている能力に差があると感じることがあるから。
- ・自分のやりたい分野の仕事をしたいため。自分の得意分野/スキルを活かしたいため。
- ・現在の業務が自身の特性に合っている実感があまりなく、他社や他業界への関心があるため。
- ・仕事内容に対する適性を改めて考えたいと感じているから。仕事に対して楽しさを感じることができていない。
- ・就職したときと現在で考えが変化し、重視するポイントが変わったため、就職したときは今の会社が自分にとってベストと思っていたが、今の自分にベストかどうかわからないため、それを知るために転職活動をしていても良いかと思うときがある。

(やりたいこと・やりがい)

- ・やりがいを感じないときがある。
- ・今の仕事に飽きてきている、仕事の評価も低いため。

- ・ やりたいプロジェクトに、今後も配属されない場合。
- ・ 現在の業務と自分のやりたいことが乖離しているため。
- ・ 他にやりたいことがあるため。部署異動ができないため。
- ・ 今の会社で自分らしく働けるか不安に思うときがあるため。
- ・ 社会のため、人のために働いているかわからない時がある。
- ・ 今の仕事がほんとにやりたい事なのか？を自問自答しているので。
- ・ 趣味の延長に仕事があれば、やりがいと楽しさを感じると思ったから。
- ・ 会社内で異動する機会も少なく、今の仕事が今後ずっと続けたいか疑問がある。
- ・ 自身の興味・関心・モチベーションが向く仕事を行いたいと考えることがあるから。
- ・ このままこの会社についてよいのか、やりたいことはほかにないか、と考えているため。
- ・ 今現在の仕事に不満はほとんどない。ただ、年を重ねて、やりたい事が増えてきたから。
- ・ 具体的にそれが何なのかは把握できていないが、自分が楽しんでできる仕事を見つけない。
- ・ 現在の会社以外の方が、自分が社会に貢献できて、やりがいを感ぜられそうだと考えたら、可能性があるため。
- ・ 元々第一希望の職場でなく、やりたいことがやれない恐れがあるため。現状はいいが他 G へ異動になると厳しい。
- ・ 自分のやりたいことと今の会社の業務がマッチしていないから。周囲の転職・独立している人の話を聞き、興味を持ったから。
- ・ 自分の将来やりたいことが見えてきたときに、その目標達成のために転職という手段が必要であればする必要があると思うから。

(仕事・会社・業界の将来性)

- ・ 会社の将来性が不安なため。
- ・ 業界の先行きが不透明なため。
- ・ 自社の将来の業績が不安だから。
- ・ 今の事業部の将来性が不安なため。
- ・ 自動車業界が抱える将来性への危惧。
- ・ 現在の職場の将来性に不安があるから。
- ・ 今の業界の将来性に不安を感じているから。
- ・ 仕事の内容や将来性について不安があるから。
- ・ 将来性への不安。自身の成長につながらない。
- ・ 上の方の考え方等で会社の将来に不安を感じることが多いため。
- ・ 現在の会社にこのままいることに漠然とした不安を感じるため。
- ・ 会社の未来に不安を感じるから。年功序列制度に不満を感じるから。
- ・ 環境変化が激しい世の中で一つの会社にいることはリスクを感じるため。
- ・ 自動車用エンジンに関わる業務であり、今後伸びる可能性が限りなく少ない。
- ・ 従業員が多いため今後の給与保障を維持することが難しいだろうと思うから。
- ・ 自動車部品業界における会社の立ち位置や業績から不安を感じる。また残業規制により収入面が厳しい。

(キャリアアップ)

- ・スキルが身につかないから。
- ・現状のままではスキルアップにならない。
- ・キャリアの幅を広げてみたいと考えたため。
- ・キャリアアップ、よりやり甲斐のある仕事を探して。
- ・業務内容が変わらず、自身のキャリアに不安を抱いたため。
- ・自分が活躍できるポジションが今の会社にあるか不明であるから。
- ・自身のキャリアを考えると、転職も含めて考えるのは当たり前。
- ・今やっている仕事で身につくスキルは、市場価値が高いものではないと感じるから。
- ・キャリアアップ、社会に適合できるスキルをより身に付けられる仕事があれば興味がある。
- ・家族の事情、仕事のキャリアを考えて会社にも、キャリアアップが望めないと思ったから。
- ・業務内容やキャリア(資格制度、役職制度等)が、自身が志向するキャリアプランと一致しないため。
- ・ルーチンワークが続くとスキルが身につかないので、他の仕事を探したくなる。この仕事をしている目的が達成できない。
- ・現在の会社は社内調整などの内向きの仕事が多いため、他社で通用するようなスキルを身に着けることがあまり望めないと考えているため。
- ・転職を考える理由は、調整業務等が多くハードスキルの成長が見込めない点と、業務量が多く睡眠を削って自己研鑽する日々を送っている点から。
- ・仕事面では何か学ぶということは少なく、周囲との調整業務や検討するためのツールを学ぶくらいであり、他社でも通用するほどの技術力が身につけているとは言い難いため。
- ・仕事内容に興味を感じないが、人員不足もありジョブローテーションも機能してない。新しく汎用的なスキルが身につく仕事ではないので、遅くなれば遅くなるほど転職はできなくなると思っているので、早めに動くべきかを悩んでいる。

(自己成長)

- ・自己成長のため。
- ・他社を知りたい、自分の成長を実感したい。
- ・自分の成長のため、経験は多いほど良いと思うからです。
- ・自分自身が成長するための方法の一つとして転職を視野に入れている。
- ・自分の人生を充実させるために、他の選択肢も考えた方がいいと思うから。
- ・同級生と比較した時に、成長度・給与・やりがいに差を感じる場面が多いため。
- ・より自分が成長しつつ社会に貢献でき、給与も高い仕事があれば転職したいから。
- ・業務上、ルーティン作業が多く、理解していなくてもこなせてしまう仕事のため、自身の成長を感じる瞬間がほとんどないため。
- ・今後もずっと、今の会社で働いていく姿がイメージできない。もっと自分の強みを活かして、自己成長に繋がる仕事を探してみたい。
- ・周りの優秀な人材が多数転職により会社を去っているなか、今の仕事に大きなやりがいや成長を実感できているわけでもないため。

- ・わが社の中で出来る自分自身に関わりたい業務という点で、今以上が思いつかないため。今後さらに今のような仕事を発展させていくという視点では、おそらく他社へ行く方がよいと感じている。

(新しい挑戦)

- ・視野を広げるため。
- ・新しい世界を知りたいから。
- ・チャレンジしてみたいと時々感じるから。
- ・外の世界ではどんな働き方があるのか気になるから。
- ・新しい分野に挑戦してみたい。自分の力を試してみたい。
- ・全く新しいことにチャレンジしてみたい。自分がどれくらい世間に通用するレベルにあるのか知りたい。
- ・慣れた環境にずっと身を置くのではなく、新しい環境で今までとは全く異なる人たちと仕事をするこ
とで、人生に刺激を与えたいから。

(他業種等への興味)

- ・海外で働きたいから。
- ・単純に他の異業種も経験してみたい。
- ・自分の興味がある仕事をしてみたいから。
- ・現在と異なる業界・業種に興味があるため。
- ・視野を広く、違う道へ進む自分も考えておきたいから。
- ・車に興味がないため、興味のある商材(お菓子、エンタメ、文房具等)に関わった仕事がしたいと思う。

(ワークライフバランス)

- ・ライフワークバランス、子の成長環境および親の介護。
- ・仕事中心の生活となっており、生き甲斐を感じないため。
- ・仕事とプライベートの両立が難しい。出産子育てができない。
- ・出社勤務ばかりで今後子供ができた時に、育児と仕事を両立できると思えないからです。
- ・時間貧乏で一生を終えたくない。適度な収入と自由な時間を得た生活が理想と考えているため。
- ・わが社の総合職は時短勤務が難しい印象があるため、母としての両立していく将来ビジョンがあまり見えない。
- ・子育て中で、子供との時間を増やしたいし、育児と家事に追われて、自分に余裕を持てなくなってしま
うことがあるため。
- ・業務の忙しさとリモートワークができない職種のため、今後家庭ができたときに両立できない(時短
など通常と同量の責任がもてない) ことになると、他の先輩をみて感じる。
- ・現部署では仕事量も多く、また家からも遠いため、プライベートと仕事の両立が難しいから。また、
今の仕事にやりがいあまり感じないから。

(転居・通勤)

- ・通勤時間を短くしたい。残業を減らしたい。

- ・ 家業を継いでほしいと家族から要望があるため。
- ・ 結婚を機に、生活の拠点を移す必要性がある可能性があるため。
- ・ 結婚に伴い勤務地の制限がかかる可能性がゼロではないから。
- ・ 家族と一緒に暮らすためには勤務地を変えるため。よりやりたい仕事をするため。
- ・ 結婚相手との都合で、今の会社では異動ができない地域での生活を検討する必要があるため。
- ・ 自分の親の介護といった将来の家庭環境を考え、地元で仕事ができるほうが良いと思うから。
- ・ 勤務地が遠く、リモートワークも原則禁止になったため。家庭のことを考えるとリモートワークが実装されているか、勤務地が近い会社がよい。